

令和3年12月2日
国土交通省 新庄河川事務所
真室川町

『まるごと里ごとハザードマップ』作成後の活用

～地域防災力の強化に向けた取り組み～

近年、局地的な豪雨や台風等により、全国各地において土砂災害等が頻発しています。

新庄河川事務所では、これらの自然災害から身を守るための取り組みの一つとして「まるごと里ごとハザードマップ^{※1}」の作成を進めています。

今回は「避難時の意思決定訓練」を、地域住民、真室川町等と合同で行います。

地域の住民自らが危険箇所を確認し、土砂災害から身を守るための行動が速やかにとれることを目的に、真室川町大滝地区において令和元年度までに「まるごと里ごとハザードマップ^{※1}」を作成しました。

今回は、令和元年度に作成したハザードマップの活用及び地域住民の方の防災意識向上を図るため、土砂災害発生が予測される際の避難方法や避難時の情報連絡等の確認を行います。

記

■実施内容：

日時：令和3年12月5日（日）9:30～12:00
場所：大滝公民館（最上郡真室川町大滝 144-1）
概要：別紙参照

■参加人員：真室川町大滝地区町内会、行政関係者 40名程度

（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえでを行います。）

※1) 国土交通省では、平成18年7月から生活空間である市街地に水災にかかる各種情報を洪水関連標識として表示する「まるごとまちごとハザードマップ」を推進しています。これを基に新庄河川事務所では、土砂災害版として（仮称）「まるごと里ごとハザードマップ」と呼び、避難誘導標識の他に手作りの避難経路図の作成に取り組んでいます。

<発表記者会> 山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会

問い合わせ先



国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
〒996-0071 新庄市小田島町5-55 TEL 0233 (22) 0262

副所長（砂防） 木村 晃（内線 205）

調査課長 土門 弘和（内線 351）



真室川町
〒999-5312 最上郡真室川町大字新町 124-4 TEL 0233 (62) 2111
総務課 危機管理室

真室川町大滝地区 「まるごと里ごとハザードマップ」防災訓練

● 概要

①参加者全員を対象とした防災マップの説明

09:30～09:40

○避難判断の基準、避難の判断を地区の役員が行い、組長を通じて住民へ連絡することなど大滝地区の避難判断、連絡体制や地区の起こりやすい災害の特徴など、防災マップの説明を行う。

②地区役員（区長、副区長、会計、班長）を対象とした意思決定訓練

09:40～10:10

○豪雨時の周囲の状況や土砂災害警戒判定メッシュ情報、雨のバリエーションやチェックポイントの異常など現地情報があった場合、班長がいない場合など、いくつか場や時間条件を変化した場面を想定して、避難するかしないか判断を行う訓練。

③各組別の訓練

10:10～11:30

○班長から各組長へ避難の連絡が入った際に、組ごとに以下の点についてどのように対応するかを確認していただく訓練。

1. 地区役員によって意思決定された情報の伝達訓練
2. 各組の組員がどのように避難するのかを各組で意思統一訓練
3. 避難の連絡が入った場合に基本的には指定避難所へ避難するが、避難の途中に土砂が道路にあふれるなど避難途中で障害が発生した場合の行動確認

④総括（質疑応答）

11:30～12:00

○訓練を通じて地域の避難ルールを理解していただき、現況の防災マップで改善すべき箇所を確認。